

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和2年8月13日(2020.8.13)

【公開番号】特開2019-61562(P2019-61562A)

【公開日】平成31年4月18日(2019.4.18)

【年通号数】公開・登録公報2019-015

【出願番号】特願2017-186838(P2017-186838)

【国際特許分類】

G 0 8 G 1/16 (2006.01)

B 6 0 R 16/02 (2006.01)

A 6 1 M 21/00 (2006.01)

B 6 0 H 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/01 (2006.01)

【F I】

G 0 8 G 1/16 F

B 6 0 R 16/02 6 3 0 Z

A 6 1 M 21/00 B

B 6 0 H 1/00 1 0 1 Q

G 0 6 F 3/01 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年6月30日(2020.6.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

運転者の覚醒度を検知する覚醒度検知装置と、

運転者の操作手による接触を検出するセンタコンソール上のタッチ操作部と、前記タッチ操作部と隣接するように前記センタコンソール上に配置され、風を放出する送風部と、を有するタッチ操作装置と、

車両の自動運転を制御する自動運転装置と、

を備え、

自動運転に移行したと判定した場合、

前記自動運転装置によって前記操作手を前記センタコンソール上の前記タッチ操作部へと移動させるような指令を前記運転者に提供し、

前記タッチ操作部によって前記操作手の接触を検出すると、前記タッチ操作部において前記送風部により放出される冷風によって前記操作手の温度を低下させる、

覚醒誘導システム。

【請求項2】

自動運転に移行したと判定し、かつ前記覚醒度検知装置が前記運転者の覚醒度低下を検知した場合、

前記自動運転装置によって前記操作手を前記センタコンソール上の前記タッチ操作部へと移動させるような指令を前記運転者に提供し、

前記タッチ操作部によって前記操作手の接触を検出すると、前記タッチ操作部において前記送風部により放出される冷風によって前記操作手の温度を低下させる、

請求項1に記載の覚醒誘導システム。

【請求項 3】

前記操作手が接触する前記タッチ操作部又はその周囲雰囲気を予め冷却する、
請求項 1 又は 2 に記載の覚醒誘導システム。

【請求項 4】

前記タッチ操作部によって前記操作手の接触を検出すると、前記タッチ操作部又はその
周囲雰囲気を冷却する、
請求項 1 又は 2 に記載の覚醒誘導システム。

【請求項 5】

前記自動運転装置による前記指令は、自動運転に関して前記運転者が行う選択行為に関
連する、

請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の覚醒誘導システム。

【請求項 6】

前記覚醒度検知装置が前記運転者の覚醒度低下を検知した場合、
前記自動運転装置による前記指令の回数を増大させる、
請求項 5 に記載の覚醒誘導システム。

【請求項 7】

前記自動運転装置による前記指令は、前記タッチ操作部において前記運転者が行う車載
用音響映像装置の操作に関連する、

請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の覚醒誘導システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明の一実施形態に係る覚醒誘導システムは、
運転者の覚醒度を検知する覚醒度検知装置と、
運転者の操作手による接触を検出するセンタコンソール上のタッチ操作部と、前記タッ
チ操作部と隣接するように前記センタコンソール上に配置され、風を放出する送風部と、
を有するタッチ操作装置と、
車両の自動運転を制御する自動運転装置と、
を備え、
自動運転に移行したと判定した場合、
前記自動運転装置によって前記操作手を前記センタコンソール上の前記タッチ操作部へ
と移動させるような指令を前記運転者に提供し、
前記タッチ操作部によって前記操作手の接触を検出すると、前記タッチ操作部において
前記送風部により放出される冷風によって前記操作手の温度を低下させる。